

Case19

有限会社 藤田木工所



事業計画名

生産プロセスの高度化で生産性向上と 職場環境改善をはかり 付加価値創出体制の確立を目指す

本事業により最新スライドソーの導入と情報技術を活用することで、生産性や品質、歩留まりなど課題点を解消し、生産プロセスの改善を図った。また作業工程の見直しや CAD との連携をとることで作業効率をアップさせ、より働きやすい環境づくりにも着手。企業内における付加価値創出体制の確立を目指した。

取り組みの経緯



これまでパネル版など各種原板を必要なサイズに切断する作業においていくつか課題点があった。「板取り工程」の歩留まり、板と板を継ぐための「仕口加工工程」における職人の目視や技術力を要する作業精度の課題、寸法不良による手直し作業の発生、技術継承など…。それらの課題解決のため、本事業で最新機器導入及びネット販売に向け、アイデア家具の試作開発に取り組むこととした。

実施内容

切断軸最新のスライドソーの導入により、CADとの連携を強化。作業工程を減少し、歩留まり向上に向け原板コードの整備などを実施。「仕口」、「継ぎ」を実現する溝加工などはCNCが補助し、高品質を実現。職人の目視による切断の位置決めなどはCNCによる0.01mmの加工ができ、組立作業効率も格段に上がると確信。職人技を要していた作業が安定し、ハイクオリティな商品を随時提供できるかを検証した。



成果



スライドソーにおいて原板を固定するフェンス機構(横方向の固定)やクランプ機構(縦方向の固定)、移動を容易にするスライド機構により、取り回しの重労働から解放され、安全面の確保と作業性の改善を実現した。また、これまで不可能だった大物の加工や金属板、ガラス等の切断の内製化ができ、作業工数も約36%削減、不良率も1%以下になることを試算。職場環境の大きな改善にもつながった。

代表者メッセージ



代表取締役
藤田 淳司

ご縁のある全ての方々と共に 繁栄と成長、幸福を願う企業を目指す

当社は家具製造業として1971年に創業、もう少しで半世紀を迎えようとしています。近年では素材やデザインにこだわった高価格商品に活路を見出し、素材を生かす技術、デザインへのこだわりを持ち、各種商業施設、展示装飾など受注先の拡大を図っております。また「独自性の創出」をテーマに掲げ、若手人材及び女性を積極的に採用。「空間を創出するための様々な素材の活用」、「オリジナルブランドの創出」を切り札にもつくりの職人育成と共に、魅力あふれる企業を目指しております。

企業情報

所在地	香川県高松市池田町1254-5
TEL	087-849-1035
設立	1995年1月
代表者	藤田 淳司
業種	家具・装備品製造業
従業員数	8名
事業内容	別注家具や店舗什器の製造及び販売等



自由な発想と創造力 新たなアプローチで 未知なる家具の魅力を開花

2018年11月には東京ビッグサイトの展示会に参加し、プリザーブドフラワーと家具を融合させたオリジナルブランドの開発に挑むなど斬新な切り口で新たな家具の魅力を発信。女性の意見も多く取り入れ、固定概念を持たないことで、現代のライフスタイルに合わせたアイデア満載の商品展開と確かな技術で話題を呼んでいます。